

## 滋賀県内企業動向調査 ～17年7-9月期の実績見込みと10-12月期の見通し～ 3年半ぶりに景況感はプラス水準に回復

㈱滋賀銀行のシンクタンクである ㈱しがぎん経済文化センター（大津市、取締役社長 中川 浩）では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2017年7-9月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

### 【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査（2017年7-9月期）
- ・調査時期：2017年8月7日～28日
- ・調査方法：郵送による配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業 933社
- ・回答数：347社（有効回答率37%）うち製造業154社、非製造業193社
- ・分析手法：D I（ディフュージョン・インデックス）  
＝「かなり良い」と「やや良い」の回答割合から、  
「かなり悪い」と「やや悪い」の回答割合を引いた指数を採用

### 【調査結果の要旨】

#### 1. 現在の業況判断（P2～4）

- ・今回調査（17年7-9月期）での自社の業況判断D Iは+1で、前回（17年4-6月期）の-3から4ポイント上昇、消費増税前の14年1-3月期以来、3年半ぶりにプラス水準に回復した。消費増税が実施された14年4-6月期以降、13四半期連続で「悪い」が「良い」を上回るマイナス水準が続いていたが、今年の10-12月期以降、4四半期連続で上昇しプラス水準に回復した。
- ・製造業は、前回の+3から5ポイント上昇の+8となり、2四半期連続でプラス水準となった。食料品はもちあいからマイナス水準に、その他の製造業はプラス水準からマイナス水準に低下するも、木材・木製品はもちあいからプラス水準に回復、一般機械はマイナス水準からもちあいに回復した。金属製品、電気機械、輸送用機械はプラス幅が拡大した。
- ・非製造業は、前回の-8から4ポイント上昇の-4となった。不動産は再びマイナス水準に低下するも、建設、サービスはマイナス水準からプラス水準に回復、卸売、小売、その他の非製造業はマイナス幅が縮小した。
- ・3カ月後（10-12月期）は、製造業が3ポイント上昇の+11に、非製造業は6ポイント上昇の+2、全体では5ポイント上昇の+6と、さらに良化する見通しを示した。

#### 2. その他の判断項目（P4～7）

- ・売上D I（前回：-4→今回：-1）は前回から3ポイント上昇するも、12四半期連続でマイナス水準（「減少」超過）が続いている。
- ・経常利益D I（0→-5）は、前回もちあいに回復したが再びマイナス水準に低下した。
- ・製・商品の在庫D I（+7→+8）は1ポイント上昇した。
- ・販売価格D I（-3→-3）は前回と同水準となった。
- ・仕入価格D I（+21→+16）は5ポイント低下、3四半期ぶりに低下した。
- ・生産・営業用設備D I（-6→-8）は、2ポイント低下、5四半期連続でマイナス水準。
- ・雇用人員D I（-30→-37）は、21四半期連続のマイナス水準で「不足感」が根強い。

#### 3. 設備投資の実施状況（P8・9）

- ・設備投資を実施した（する）企業の割合は44%で、前回（42%）から2ポイント上昇も、6四半期連続で5割を割り込む。
- ・主な内容（複数回答）は、「生産・営業用設備の更新」（47%）が最多。次いで「車両の購入」（33%）「生産・営業用設備の新規導入」（25%）と続いた。

【お問い合わせ先】 ㈱しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 北村（TEL：077-523-2245）

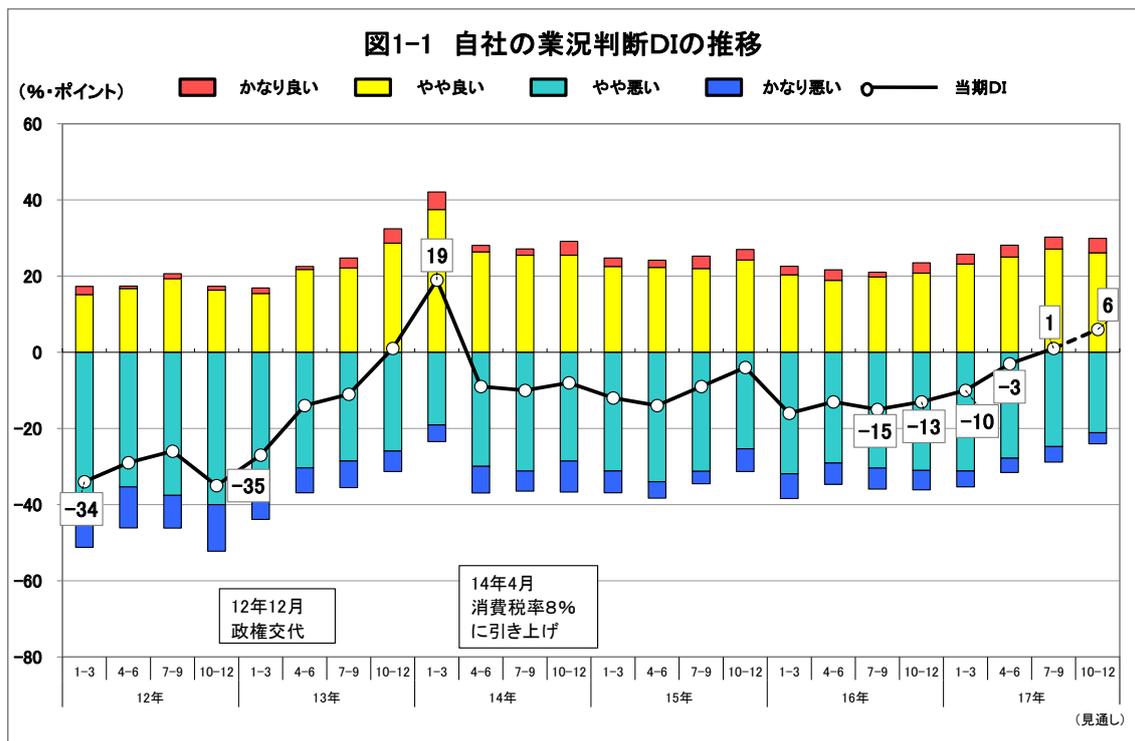
## 1. 自社の業況判断

### (1) 自社の業況判断DI…製造業の景況感は2四半期連続でプラス水準

#### 1. 全体の動向 (図1-1)

今回の調査(17年7-9月期)での自社の業況判断DIは前回(17年4-6月期)の-3から4ポイント上昇の+1となり、3年半ぶりにプラス水準に回復した。消費増税が実施された14年4-6月期以降、13四半期連続で「悪い」と答えた企業の割合が「良い」を上回るマイナス水準が続いたが、4四半期連続で上昇しプラス水準に回復した。

3カ月後(10-12月期)は5ポイント上昇の+6と、プラス幅が拡大する見通しを示した。



#### 2. 業種別の動向 (図1-2、表1)

業種別にみると、製造業は、前回の+3から5ポイント上昇の+8となり、2四半期連続でプラス水準になった。食料品(0→-29)、その他の製造業(+12→-3)はマイナス水準に低下するも、一般機械(-42→0)はマイナス水準からもちあいに回復、木材・木製品(0→+60)はもちあいからプラス水準に上昇、金属製品(+5→+16)、電気機械(+17→+38)、輸送用機械(+17→+20)はプラス幅が拡大した。化学(+33→+33)、窯業・土石(+50→+25)はプラス水準を維持した。

3カ月後の製造業全体は、3ポイント良化の+11となる見通しである。

非製造業は、前回の-8から4ポイント上昇し-4となった。不動産(+29→-17)がプラス水準からマイナス水準に低下、運輸・通信(0→-7)はもちあいからマイナス水準に低下するも、建設(-7→+9)、サービス(-6→+6)はマイナス水準からプラス水準に回復、卸売(-20→-15)、小売(-21→-14)、その他の非製造業(-29→-14)はマイナス幅が縮小した。

3カ月後は、現在から6ポイント良化の+2とプラス水準に回復する見通しである。

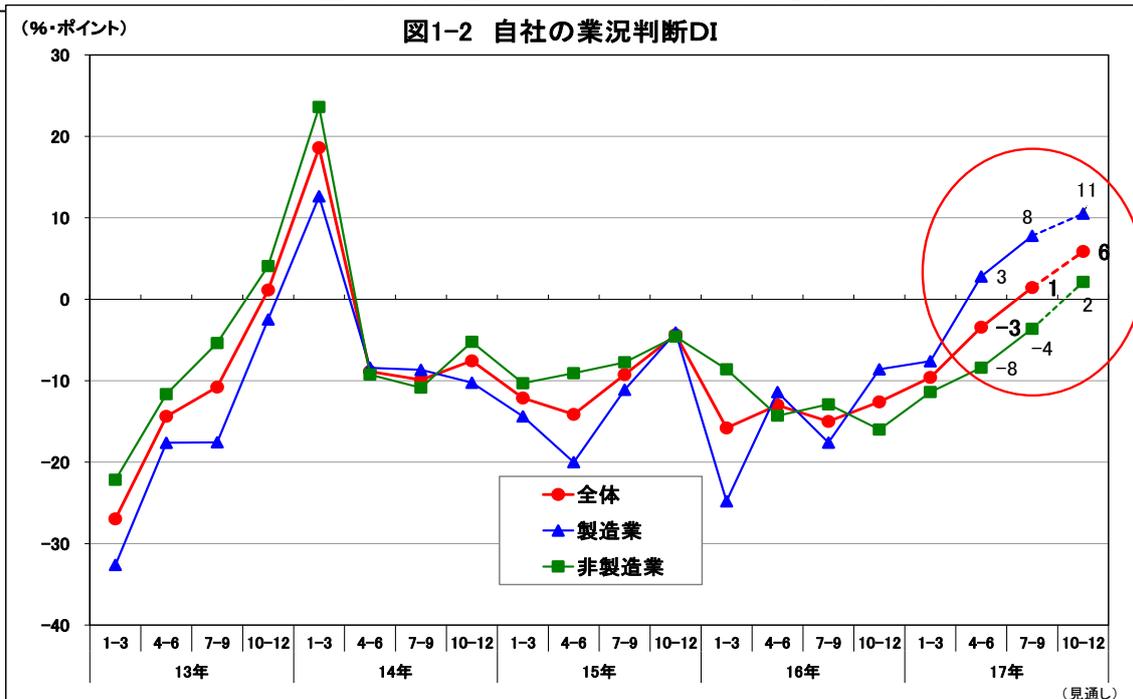


表1 自社の業況判断DI(業種別)

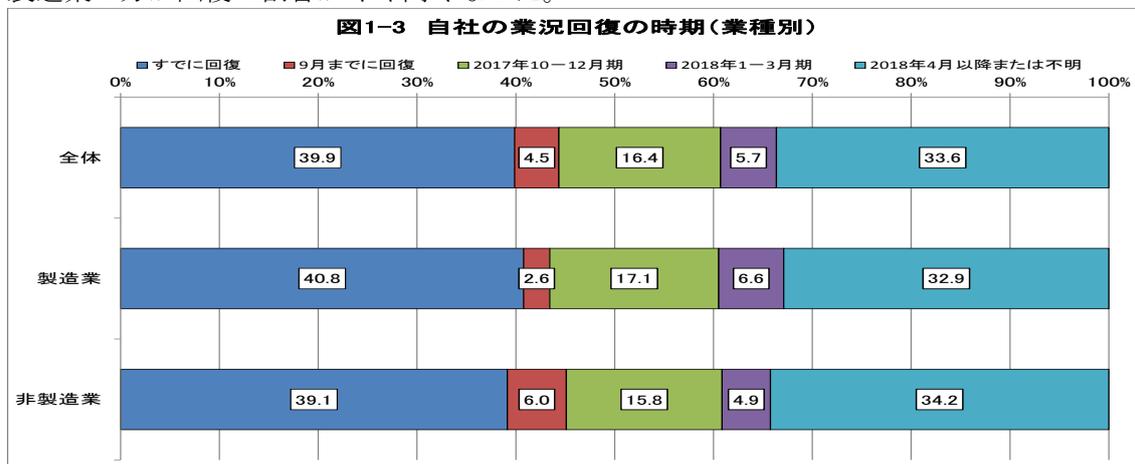
業種(※1)	今回の回答社数	17年 4-6月期 前回	17年 7-9月期 今回(※2)	17年 10-12月期 見通し
<b>全体</b>	<b>347</b>	<b>-3</b>	<b>1 ( -1 )</b>	<b>6</b>
<b>製造業</b>	<b>154</b>	<b>3</b>	<b>8 ( 4 )</b>	<b>11</b>
繊維	17	-36	-12 ( -36 )	6
木材・木製品	5	0	60 ( -29 )	0
紙・パルプ	×	×	×	×
化学	9	33	33 ( 22 )	44
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	4	50	25 ( 67 )	25
鉄鋼	×	×	×	×
非鉄金属	×	×	×	×
食料品	14	0	-29 ( -9 )	-8
金属製品	19	5	16 ( 5 )	21
一般機械	13	-42	0 ( -33 )	8
電気機械	13	17	38 ( 25 )	38
輸送用機械	5	17	20 ( 17 )	-20
精密機械	×	×	×	×
その他の製造業	38	12	-3 ( 9 )	-3
<b>非製造業</b>	<b>193</b>	<b>-8</b>	<b>-4 ( -6 )</b>	<b>2</b>
建設	55	-7	9 ( -2 )	9
不動産	12	29	-17 ( 0 )	8
卸売	34	-20	-15 ( -8 )	-12
小売	37	-21	-14 ( -14 )	-18
運輸・通信	15	0	-7 ( 8 )	27
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	31	-6	6 ( -13 )	6
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	7	-29	-14 ( 0 )	29

(※1) 回答数が3社以下の業種は非表示(×)

(※2) ( )内の数値は前回調査時点での7-9月期の見通し

(2) 自社の業況回復の時期…「すでに回復」は約4割(図1-3)

自社の業況回復の時期をみると、「すでに回復(好調維持を含む)」した企業の割合は39.9%と約4割になり、「9月までに回復(4.5%)を合わせると44.4%と4割超に上り前回(41.3%)より増加した。一方、半年以上先の「18年4月以降(不明を含む)」も3割強(33.6%)を占め、前回(32.4%)より増加しており、2極化が進行しているようだ。業種別では、「すでに回復」した企業の割合は、製造業の40.8%に対し非製造業は39.1%と、製造業の方が回復の割合がやや高くなった。



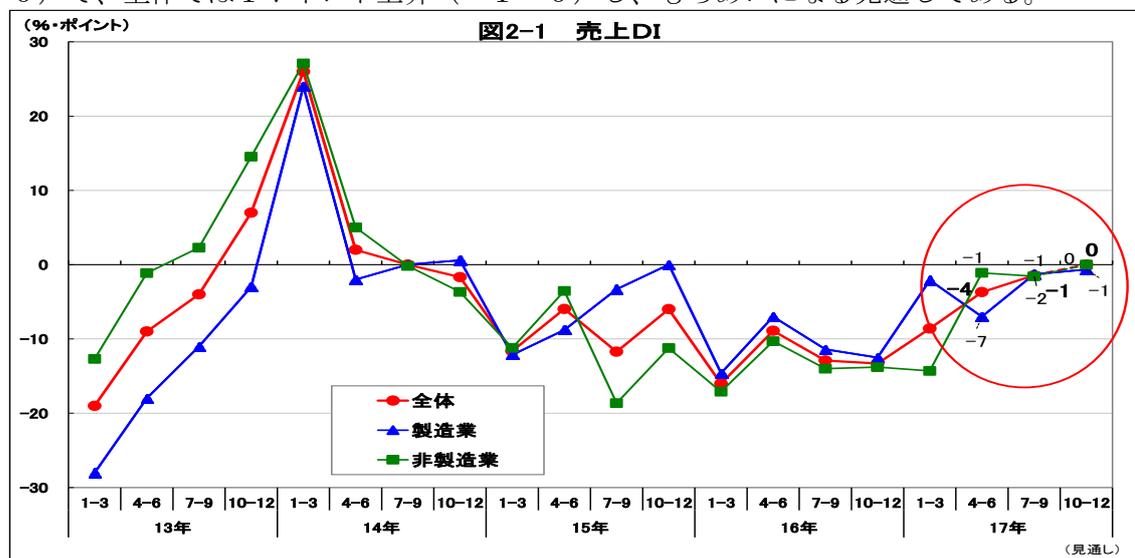
2. その他の判断項目

(1) 売上DI…マイナス幅縮小も、12四半期連続でマイナス水準(図2-1)

現在の売上DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-1で、前回の-4から3ポイント上昇、全体では12四半期連続でマイナス水準(「減少」超過)が続いている。

業種別では、製造業は-7から-1に6ポイント上昇した。輸送用機械(+17→-40)はプラス水準からマイナス水準に低下、その他の製造業(-11→-16)はマイナス幅が拡大するも、金属製品(-11→+5)はマイナス水準からプラス水準に回復した。木材・木製品(+29→+40)、化学(+11→+33)、窯業・土石(+17→+50)はプラス幅が拡大した。非製造業は-1から-2に1ポイント低下した。運輸・通信(+8→-7)はプラス水準からマイナス水準に悪化、不動産(0→-8)はもちあいからマイナス水準に低下、建設(-2→-4)はマイナス幅が拡大するも、サービス(0→0)はもちあいを維持、その他の非製造業(-29→0)はマイナス水準からもちあいに回復した。

3カ月後は、製造業は現状と同水準(-1→-1)、非製造業は2ポイント上昇(-2→0)で、全体では1ポイント上昇(-1→0)し、もちあいになる見通しである。

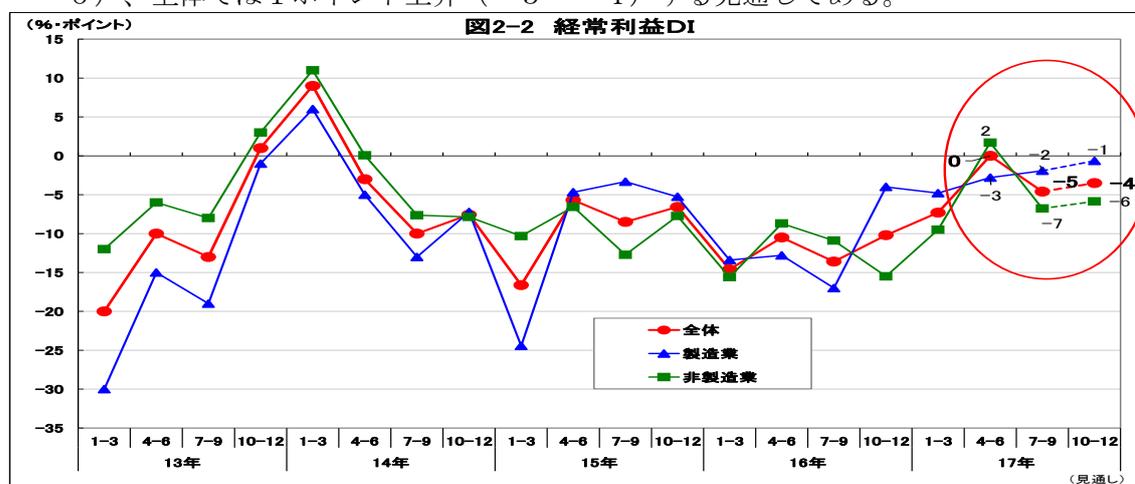


## (2) 経常利益DI…再びマイナス水準に低下(図2-2)

現在の経常利益DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値）は-5で、前回13四半期ぶりにマイナス水準からもちあいになったが再びマイナス水準に低下した。

業種別にみると、製造業（-3→-2）は1ポイント改善した。その他の製造業（0→-16）はもちあいからマイナス水準に悪化、繊維（-36→-39）はマイナス幅が拡大するも、窯業・土石（-17→0）、食料品（-9→0）はマイナス水準からもちあいに回復。化学（+33→+22）、電気機械（+33→+7）はプラス水準を維持、金属製品（+5→+21）はプラス幅が拡大した。輸送用機械（0→+20）はもちあいからプラス水準に上昇した。非製造業は9ポイント低下（+2→-7）し、再びマイナス水準になった。建設（+2→-7）、サービス（+13→-13）はプラス水準からマイナス水準に低下、卸売（-4→-18）はマイナス幅が拡大するも、小売（-3→0）はマイナス水準からもちあいに回復、運輸・通信（+8→+13）はプラス幅が拡大した。

3カ月後は、製造業は1ポイント上昇（-2→-1）、非製造業は1ポイント上昇（-7→-6）、全体では1ポイント上昇（-5→-4）する見通しである。

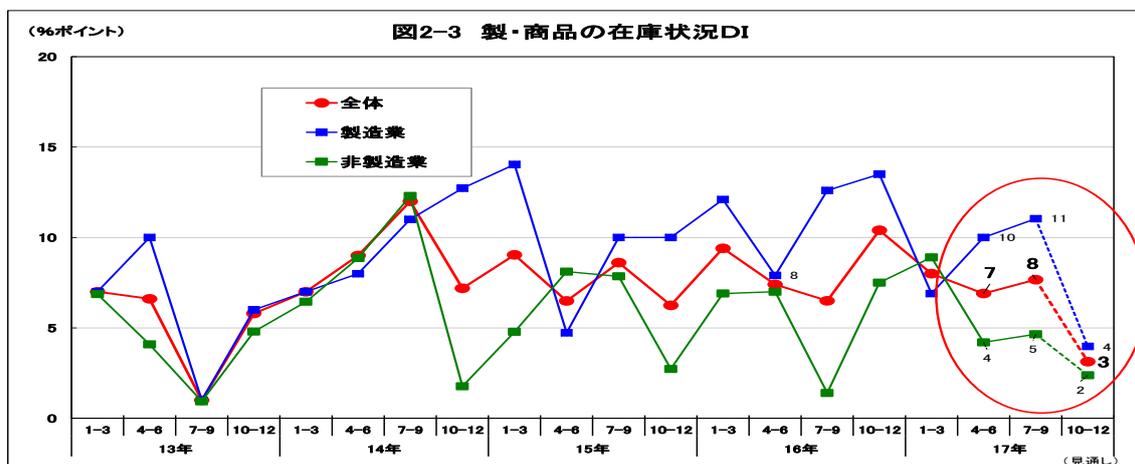


## (3) 製・商品の在庫状況DI…過大感が続く(図2-3)

現在の製・商品の在庫状況DI（「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は+8で、前回の+7から1ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は1ポイント上昇（+10→+11）した。木材・木製品（+14→+40）、食料品（+9→+21）などで過大感が強まり、金属製品（+22→+11）、輸送用機械（+17→0）などで弱まった。非製造業は1ポイント上昇（+4→+5）した。不動産（0→-23）、その他の非製造業（+14→-29）などが低下、運輸・通信（-20→0）はもちあいに上昇、小売（0→+11）、サービス（-7→+4）などは過大感が強まった。

3カ月後は、製造業は7ポイント低下（+11→+4）、非製造業は3ポイント低下（+5→+2）となり、全体では5ポイント低下（+8→+3）の見通しである。

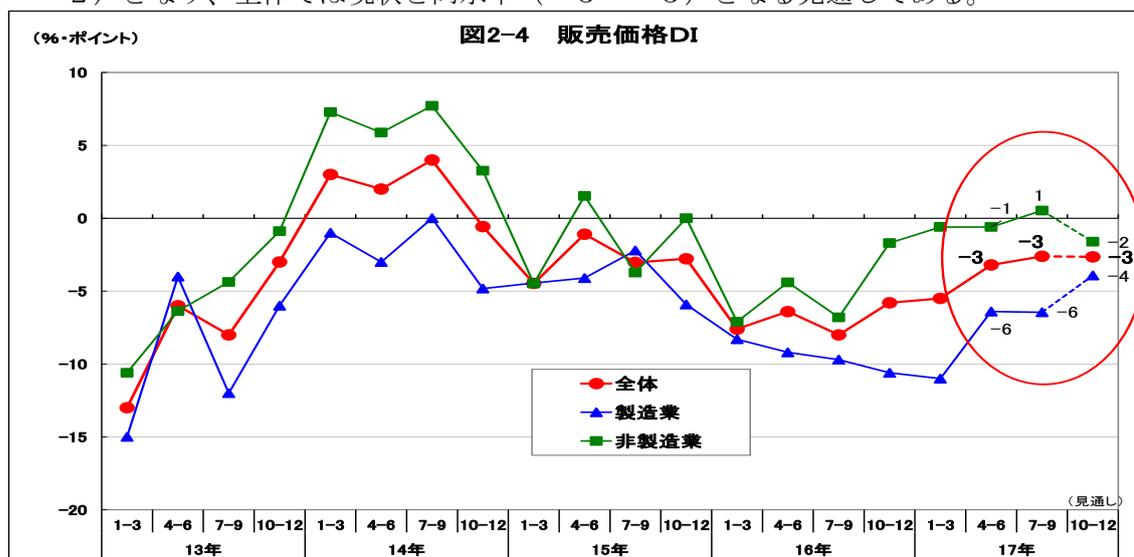


**(4) 販売価格DI…製造業、非製造業ともに前回と同水準(図2-4)**

現在の販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は-3で、前回(-3)と同水準となった。

種別に見ると、製造業は前回と同水準(-6→-6)となった。繊維(0→-6)、金属製品(+5→-5)、電気機械(0→-14)などが低下し、一般機械(-25→-15)、輸送用機械(-33→0)などでマイナス幅が縮小した。非製造業は2ポイント上昇(-1→+1)した。運輸・通信(+20→0)、卸売(+8→0)などで低下、その他の非製造業(-33→+14)、不動産(-8→0)などは上昇した。

3カ月後は、製造業が2ポイント上昇(-6→-4)、非製造業は3ポイント低下(+1→-2)となり、全体では現状と同水準(-3→-3)となる見通しである。

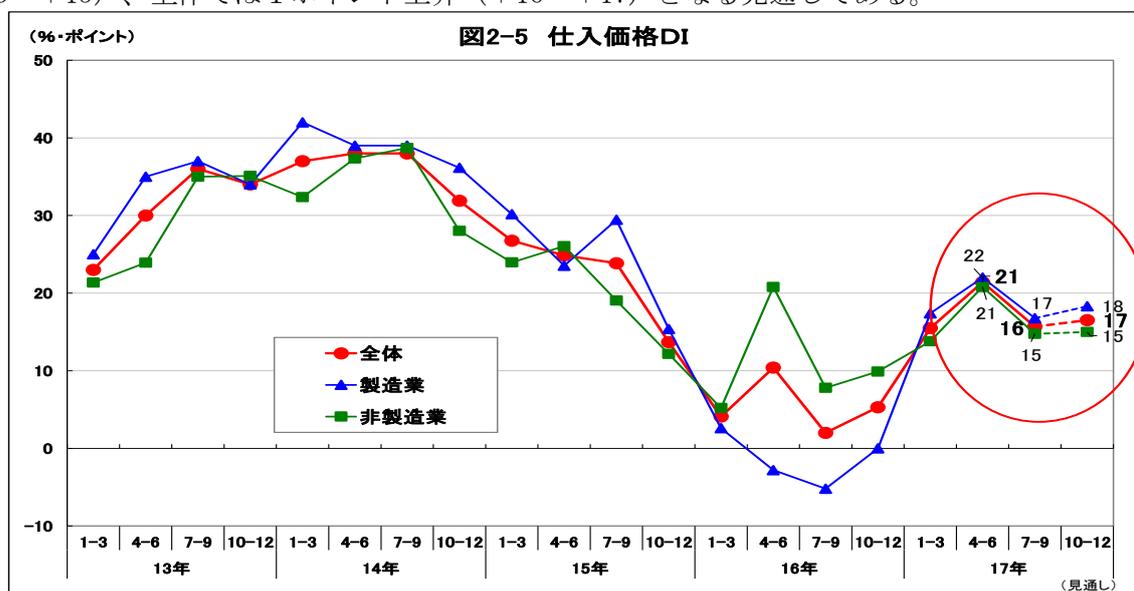


**(5) 仕入価格DI…3四半期ぶりに低下(図2-5)**

現在の仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+16で、前回の+21から5ポイント低下、3四半期ぶりに低下した。

業種別に見ると、製造業は5ポイント低下(+22→+17)した。木材・木製品(+14→+40)、その他の非製造業(+3→+16)などは上昇も、繊維(+29→+11)、化学(+44→+22)、金属製品(+42→+11)、輸送用機械(+33→0)などは低下した。非製造業は6ポイント低下(+21→+15)した。その他の非製造業(+17→+29)は上昇も、不動産(+36→+10)、運輸・通信(+27→+8)などが低下した。

3カ月後は、製造業は1ポイント上昇(+17→+18)、非製造業は現状と同水準(+15→+15)、全体では1ポイント上昇(+16→+17)となる見通しである。

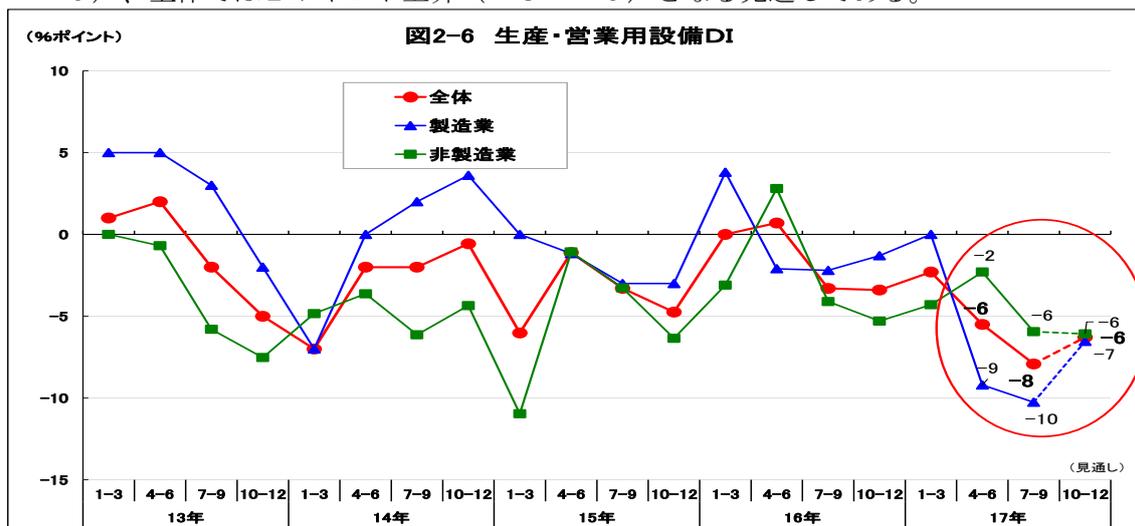


**(6) 生産・営業用設備DI…5四半期連続でマイナス水準(図2-6)**

現在の生産・営業用設備DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は、前回の-6から2ポイント低下の-8と、5四半期連続でマイナス水準になった。

業種別にみると、製造業は1ポイント低下(-9→-10)した。木材・木製品(+14→-20)、一般機械(+8→-8)、窯業・土石(0→-25)がマイナス水準に低下。一方、食料品(-36→-7)などで上昇した。非製造業は4ポイント低下(-2→-6)した。建設(+2→-8)、不動産(0→-9)、卸売(0→-9)、その他の非製造業(0→-14)は低下し、サービス(-14→-3)は不足感が弱まった。

3カ月後は、製造業は3ポイント上昇(-10→-7)、非製造業は現状と同水準(-6→-6)、全体では2ポイント上昇(-8→-6)となる見通しである。

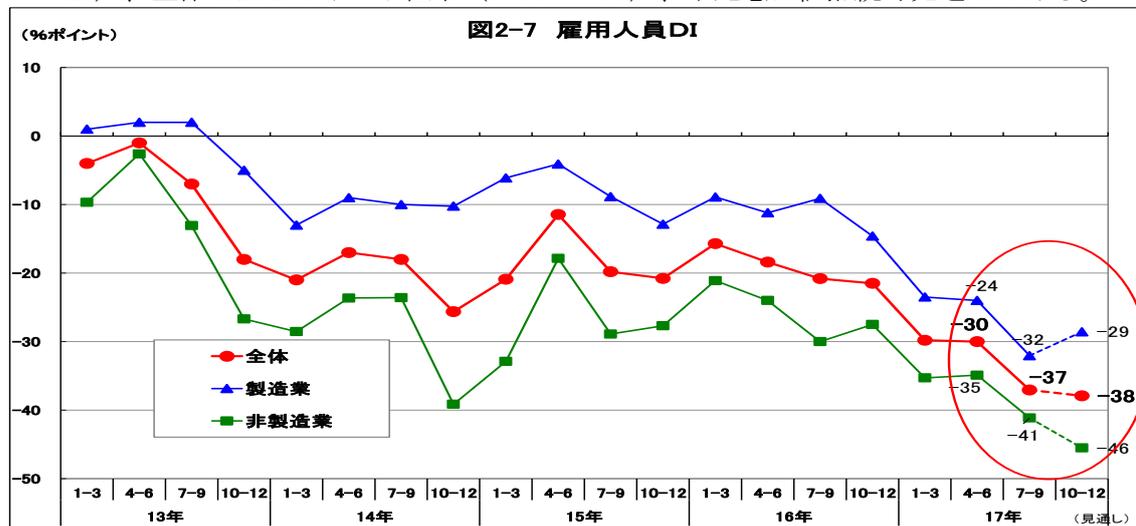


**(7) 雇用人員DI…マイナス幅拡大し、過去最低水準に(図2-7)**

現在の雇用人員DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は-37と前回の-30から7ポイント低下した。12年7-9月期から21四半期連続でマイナス水準(人手不足)となり、厳しい状況が続いている。

業種別にみると、製造業は8ポイント低下(-24→-32)した。木材・木製品(-43→-60)、食料品(-36→-43)、金属製品(-16→-32)、電気機械(-25→-57)、輸送用機械(-17→-40)などは不足感が強まり、繊維(-29→-22)、化学(-22→-11)などは不足感が弱まった。非製造業も6ポイント低下(-35→-41)した。不動産(-23→-8)は不足感が弱まるも、建設(-32→-55)、運輸・通信(-39→-47)、その他の非製造業(-14→-57)は低下し不足感が強まった。

3カ月後は、製造業は3ポイント上昇(-32→-29)、非製造業は5ポイント低下(-41→-46)、全体では1ポイント低下(-37→-38)、不足感は依然続く見通しである。



### 3. 設備投資の実施状況

#### (1)設備投資の実施割合…6四半期連続で5割割れ(図3-1、表2)

今期(7-9月期)に設備投資を実施した(する)企業の割合は44%だった。前回(4-6月)より2ポイント上昇も、6四半期連続で50%を下回った。

業種別にみると、製造業は44%で、前回(43%)から1ポイント上昇した。化学(33%→56%)、窯業・土石(83%→100%)、電気機械(50%→64%)などで上昇し、金属製品(47%→32%)、輸送用機械(83%→60%)などで低下した。非製造業は45%で、前回(41%)から4ポイント上昇した。不動産(36%→25%)、卸売(48%→36%)などで低下し、運輸・通信(54%→71%)、サービス(50%→72%)などが上昇した。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が44%、非製造業が37%で全体では40%と、さらに低下する見通しである。

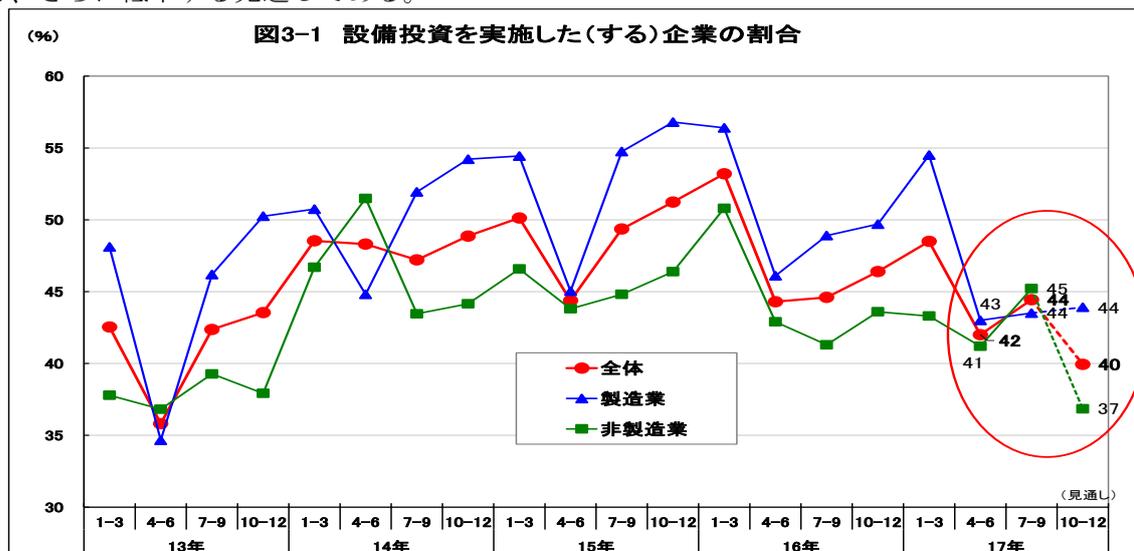


表2 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細) (%)

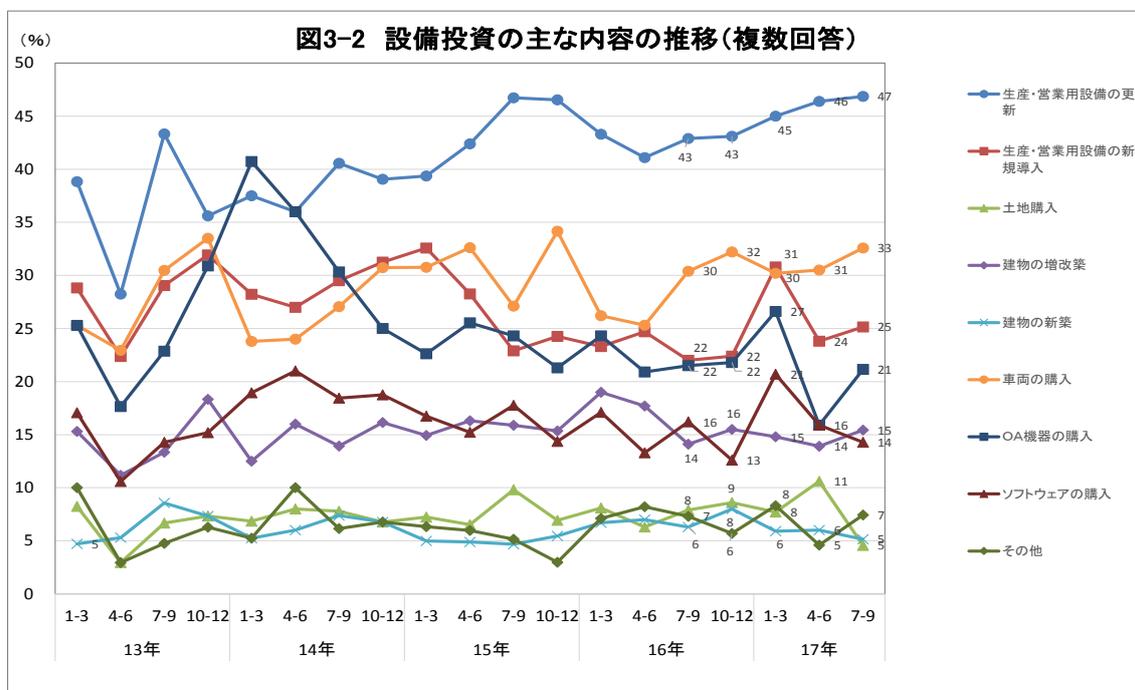
業種(※)	17年 4-6月期 前回	17年 7-9月期 今回	17年 10-12月期 見通し
<b>全体</b>	<b>42</b>	<b>44</b>	<b>40</b>
<b>製造業</b>	<b>43</b>	<b>44</b>	<b>44</b>
繊維	36	33	41
木材・木製品	29	40	20
紙・パルプ	×	×	×
化学	33	56	78
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	83	100	100
鉄鋼	×	×	×
非鉄金属	×	×	×
食料品	64	57	36
金属製品	47	32	37
一般機械	25	31	45
電気機械	50	64	43
輸送用機械	83	60	33
精密機械	×	×	×
その他の製造業	26	39	40
<b>非製造業</b>	<b>41</b>	<b>45</b>	<b>37</b>
建設	35	35	25
不動産	36	25	25
卸売	48	36	33
小売	36	43	35
運輸・通信	54	71	50
電気・ガス	×	×	×
サービス	50	72	66
リース	×	×	×
その他の非製造業	43	43	43

(※)回答数が3社以下の業種は非表示

## (2)設備投資の主な内容…「生産・営業用設備の更新」が14四半期連続のトップ

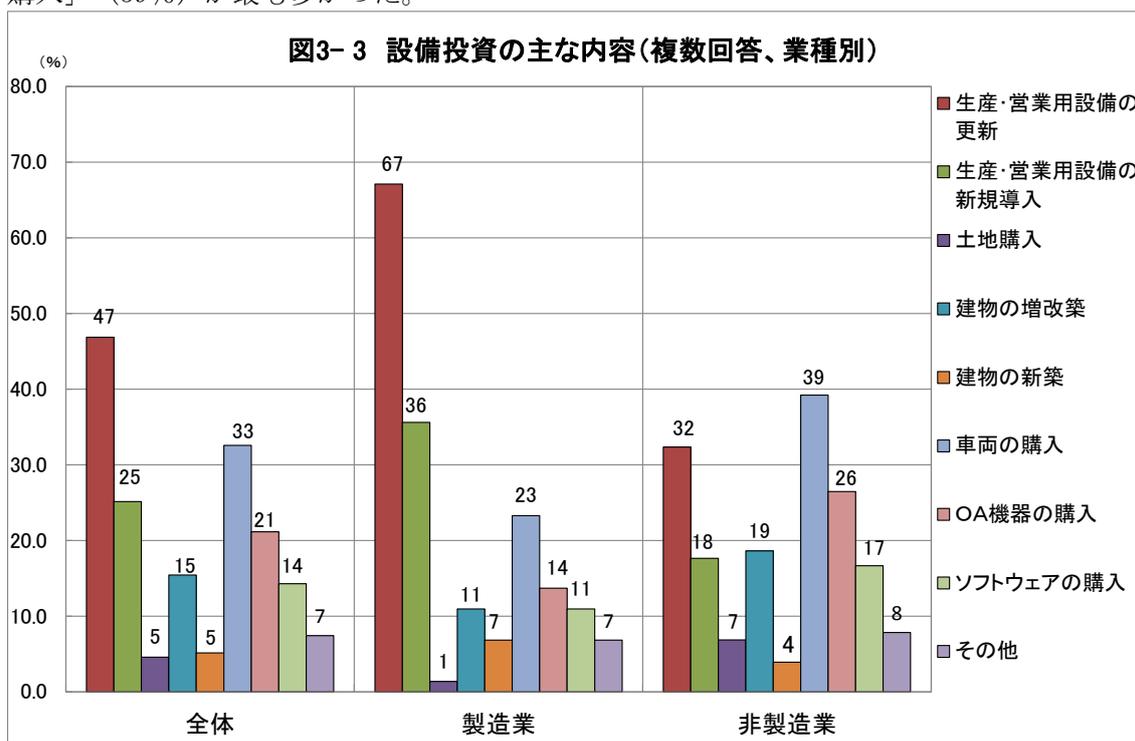
### 1. 全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容をみると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」(47%)が14四半期連続で最も多かった。次いで「車両の購入」(33%)、「生産・営業用設備の新規導入」(25%)、「OA機器の購入」(21%)、「建物の増改築」(15%)と続いた。



### 2. 業種別の動向 (図3-3)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(67%)、非製造業は「車両の購入」(39%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
繊維	・数年前から国内売上が好調なまま持続している。 ・スポット品の受注が増加し、稼働率が上がった。
木材・木製品	・新築住宅着工数増のため、売上が前年比20%以上増加している。 ・海外向け製品の需要の拡大。
化学	・石化事業、電子材料事業が好調で業績は好調に推移する。 ・国体に使用するフロートの大型受注案件の為、業績好調。 ・新規取引先の新規案件の毎月量産化により売上5%程度増加。
窯業・土石	・5年以内に立ち上げた新規事業順調、数年後までの増産計画もある。
食料品	・夏の暑さ、及び少雨の影響でお茶系ペットボトルの消費が伸びたため、業界全体で動きが活発になり売上も増加傾向にある。
金属製品	・海外への部品供給（軸受/自動車）。 ・商品単価の見直しと不採算部材の返却により利益が向上した。
電気機械	・受注好調、半導体、ディスプレイ製造設備が好調。 ・スマホや車の自動運転化等で当社のお客様の業績が好調。
精密機械	・リチウムイオン電池の巻取り機が海外向け、主に中国向けの受注が多く売上増加。 ・半導体機器の設備投資が見込まれる。
一般機械	・大手の新製品製造の対応。
その他の製造業	・利益率が改善された。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	・加工依頼の減少で売上が50%減少。 ・小売りでの販売低迷に伴う受注減。
食料品	・売上高は上昇したが、依然、営業、経常ベースで損失が出ている。 ・漬物業界全体にダウンしている、漬物を食べなくなっている。
金属製品	・最大取引先への売上が30%減少した。 ・原材料の値上げによる原価UP。
一般機械	・首都圏での工事の停滞。
電気機械	・得意先の売上低迷により約10%減少したが、9月以後受注増になる見込み。
輸送用機械	・国内市場縮小のため売上高前年比10%減。
その他の製造業	・顧客ニーズの転換(海外品、廉価基材への変更)など。 ・生活様式の変化、簡素化等の影響で需要減と低価格化により、売上減少傾向にある。

【非製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官庁工事が順調に受注できたが、今後技術者の問題もあり、新たな受注ができない状況である。</li> <li>・大手客先の設備投資が好調で売上増加。</li> <li>・手持ち工事が多い。</li> <li>・受注増。</li> </ul>
不動産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地分譲地が少しずつ売れてきた。</li> </ul>
卸売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業者廃業の影響で洋紙の売上が35%伸びた。</li> <li>・製造業の上昇により外注先の設備投資が10月、11月に集中する見込み。</li> </ul>
小売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプハウスの受注が好調。</li> <li>・7月上旬は雨が多く昨年並みも、梅雨明け後は連日夏日になり、実用品の売上が8%前後増加した。</li> <li>・新築備品や設備投資の案件が増えたため。</li> <li>・地道な利益の積み上げと無駄な出費を止め、自社コンピューターによる在庫徹底管理。</li> </ul>
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物の量が増えている。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の家族旅行が昨年並み、海外からのお客様も増加。</li> <li>・入札等で受注が増加し売上が3%増加した。</li> </ul>
その他の非製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高6.0%の増加。</li> <li>・レンタルマットの売上が増加した。</li> <li>・入院診察単価の上昇により、医業収益が前年同期比11.1%増加した。</li> </ul>

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受注額は前年同様確保できているが、受注競争の激化により低採算受注が増加している。</li> <li>・公共工事発注減。</li> <li>・前年同期比売上が20%減少、太陽光発電関係の売上が減少した。</li> </ul>
不動産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社テナントの空室（撤去による）、管理テナントの長期空室による管理料の減収。</li> </ul>
卸売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界全体で低迷、正規商品の納品状況は悪い。昨期から引き続き悪く、在庫の処分を進め資金化を急ぐ。</li> </ul>
小売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高温によるガス消費量の減少。</li> <li>・商品売価が下落し売上が減少。</li> <li>・飲食店出店の影響で売上高が前年比94%に減少した。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターの退職による売上減少。</li> <li>・少子化の影響で販売写真の売上が5%減少した。</li> </ul>
その他の非製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入子牛の高止まり、飼料コストの低減では追い付かない。</li> </ul>

「滋賀県内企業動向調査 2017年7-9月期 定例項目結果」

2. DI回答一覧(業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	17年 4-6	17年 7-9	17年 7-9	17年 10-12												
調査時期	現在	見通し	現在	見通し												
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し												
<b>全体</b>	<b>-3</b>	<b>-1</b>	<b>1</b>	<b>6</b>	<b>-4</b>	<b>-4</b>	<b>-1</b>	<b>0</b>	<b>21</b>	<b>21</b>	<b>16</b>	<b>17</b>	<b>-3</b>	<b>-7</b>	<b>-3</b>	<b>-3</b>
<b>製造業</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>8</b>	<b>11</b>	<b>-7</b>	<b>1</b>	<b>-1</b>	<b>-1</b>	<b>22</b>	<b>28</b>	<b>17</b>	<b>18</b>	<b>-6</b>	<b>-9</b>	<b>-6</b>	<b>-4</b>
繊維	-36	-36	-12	6	-43	-36	-33	-22	29	43	11	22	0	0	-6	-6
木材・木製品	0	-29	60	0	29	0	40	-20	14	43	40	20	0	-14	0	20
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	33	22	33	44	11	11	33	33	44	56	22	11	0	0	0	-11
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	50	67	25	25	17	67	50	25	17	33	0	0	0	0	0	0
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	0	-9	-29	-8	-27	0	-14	-23	18	9	21	15	9	-9	7	8
金属製品	5	5	16	21	-11	0	5	-5	42	33	11	0	5	0	-5	-5
一般機械	-42	-33	0	8	-25	-42	-15	0	8	17	8	8	-25	-17	-15	-8
電気機械	17	25	38	38	25	25	21	50	33	42	29	36	0	0	-14	-14
輸送用機械	17	17	20	-20	17	0	-40	-40	33	33	0	0	-33	-33	0	-20
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	12	9	-3	-3	-11	-6	-16	-14	3	9	16	22	-11	-11	-14	-6
<b>非製造業</b>	<b>-8</b>	<b>-6</b>	<b>-4</b>	<b>2</b>	<b>-1</b>	<b>-9</b>	<b>-2</b>	<b>0</b>	<b>21</b>	<b>16</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>-1</b>	<b>-7</b>	<b>1</b>	<b>-2</b>
建設	-7	-2	9	9	-2	-12	-4	-7	19	18	11	15	-9	-11	-7	-11
不動産	29	0	-17	8	0	0	-8	-8	36	18	10	0	-8	0	0	0
卸売	-20	-8	-15	-12	8	4	3	15	24	12	21	15	8	-8	0	-6
小売	-21	-14	-14	-18	-7	-14	-3	-21	21	10	23	30	17	3	6	9
運輸・通信	0	8	-7	27	8	-8	-7	0	27	27	8	0	20	0	0	15
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	-6	-13	6	6	0	-13	0	17	14	14	4	4	-6	-7	6	0
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-29	0	-14	29	-29	0	0	14	17	17	29	29	-33	-33	14	0

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	17年 4-6	17年 7-9	17年 7-9	17年 10-12												
調査時期	現在	見通し	現在	見通し												
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し												
<b>全体</b>	<b>-0</b>	<b>-6</b>	<b>-5</b>	<b>-4</b>	<b>7</b>	<b>5</b>	<b>8</b>	<b>3</b>	<b>-6</b>	<b>-6</b>	<b>-8</b>	<b>-6</b>	<b>-30</b>	<b>-28</b>	<b>-37</b>	<b>-38</b>
<b>製造業</b>	<b>-3</b>	<b>-3</b>	<b>-2</b>	<b>-1</b>	<b>10</b>	<b>5</b>	<b>11</b>	<b>4</b>	<b>-9</b>	<b>-9</b>	<b>-10</b>	<b>-7</b>	<b>-24</b>	<b>-20</b>	<b>-32</b>	<b>-29</b>
繊維	-36	-43	-39	-33	14	7	17	6	-7	-7	-17	-6	-29	-14	-22	-17
木材・木製品	0	0	0	0	14	14	40	20	14	14	-20	0	-43	-29	-60	-20
紙・パルプ	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
化学	33	11	22	44	-22	0	0	0	-44	-22	-22	-22	-22	-11	-11	-11
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-17	33	0	-25	-17	-17	-50	-25	0	-17	-25	-50	-17	-33	-25	-50
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-9	9	0	-15	9	-9	21	8	-36	-36	-7	0	-36	-46	-43	-54
金属製品	5	11	21	16	22	22	11	6	0	-5	0	0	-16	-5	-32	-26
一般機械	-42	-58	-23	-23	8	-8	8	-8	8	8	-8	0	-17	-17	-23	-15
電気機械	33	33	7	50	17	8	7	0	0	0	-7	-14	-25	-50	-57	-50
輸送用機械	0	33	20	-20	17	17	0	0	-17	-17	-20	-20	-17	-17	-40	-40
精密機械	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の製造業	0	-14	-16	-11	11	6	8	8	-6	-6	-11	-5	-23	-17	-24	-16
<b>非製造業</b>	<b>2</b>	<b>-9</b>	<b>-7</b>	<b>-6</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>-2</b>	<b>-4</b>	<b>-6</b>	<b>-6</b>	<b>-35</b>	<b>-34</b>	<b>-41</b>	<b>-46</b>
建設	2	-14	-7	-11	10	4	4	2	2	-2	-8	-4	-32	-33	-55	-62
不動産	7	-7	0	-8	0	0	-23	-23	0	0	-9	0	-23	-15	-8	-8
卸売	-4	-16	-18	-6	20	20	18	18	0	-4	-9	-12	-12	-12	-18	-24
小売	-3	4	0	-12	0	3	11	6	-7	-7	-6	-3	-48	-45	-49	-48
運輸・通信	8	0	13	7	-20	0	0	0	8	0	7	-7	-39	-39	-47	-53
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	13	-10	-13	-3	-7	-4	4	0	-14	-10	-3	-3	-53	-52	-42	-42
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-29	-14	-14	14	14	14	-29	-29	0	0	-14	-29	-14	-29	-57	-86

※回答数が3社以下の業種は非表示(Xと表示)